

男子 22歳未満

準決勝戦第1試合

2 岡 一太郎 ○ 内股 2 安本 一貴
(新日本製鐵・広畑) (陸上自衛隊別府駐屯地)

昨年、一昨年連続準優勝の岡は今年こそ優勝と意気込み、初戦の2回戦からここまで3連続内股での一本勝。対する安本は4試合を行い、内3試合に豪快な投技の一本勝。

岡が左組み、安本は右組みのケンカ組手の一戦は、岡が終始試合を優位に進め、開始2分10秒安本に指導1。その後も岡は攻勢を続け、3分11秒に見事な内股で一本勝ちした。

準決勝戦第2試合

2 小林 真也 ○ 内股 2 日名子 隼輔
(新日本製鐵・広畑) (トヨタ自動車)

昨年準決勝戦で同じチームの先輩小野に敗れ第3位に甘んじた小林は、今大会も危なげなく勝ち進み、昨年に続く準決勝戦進出。一方、日名子も4試合中3試合に一本勝と快調に進軍。

右組みから内股を繰り出す小林に対し左組みの日名子は技が出ず、開始2分25秒、3分50秒、4分31秒続けて計3回指導を受ける。猶も攻める小林が終了15秒前、内股で一本勝。小林、念願の決勝戦に駒を進める。

▽決勝戦

2 岡 一太郎 ● (指導2) 2 小林 真也
(新日本製鐵・広畑) (新日本製鐵・広畑)

男子22歳未満の部決勝戦は3年連続、新日本製鐵広畑チームメイトの対戦となった。先輩の岡は右、後輩小林が左のケンカ組手。手の内を熟知している故か互いに技が出ず。防御姿勢を続けた小林に21秒指導1。その後も同じ展開が続き2分1秒、再度小林に指導。

リードを許した小林は攻撃に転じるが決め手を欠く。4分6秒、今度は技の出ない岡に指導1。その後は両者の攻防が続くも決めるに至らず時間。指導の差で岡の初優勝が決まる。